

こんにちは

庄内町議会



No.69
3月議会号
3.4.15



余目中学校
卒業式

明日が今日より
輝くように

関連記事 P.32

- ◆ 2年連続の減額予算……………〈予算〉 P. 2
- ◆ 令和3年度コロナ対応……………〈補正予算〉 P. 4
- ◆ どう使われるのか……………〈予算特別委員会〉 P. 6
- ◆ 町民の声を聴く……………〈参考人招致〉 P.12
- ◆ 町政を問う 13人が提言……………〈一般質問〉 P.16
- ◆ よりよい町づくりのために…〈常任委員会報告〉 P.24
- ◆ 7月に補欠選挙……………〈解体親書〉 P.28

減額予算 可決

3月
定例会

会期

3月2日(火)から
15日(月)まで

各会計
補正予算 6件

各会計
予算 8件

条例制定 10件

条例設定 3件

事件案件 9件

発議 2件

以上38件
原案どおり可決

一般会計

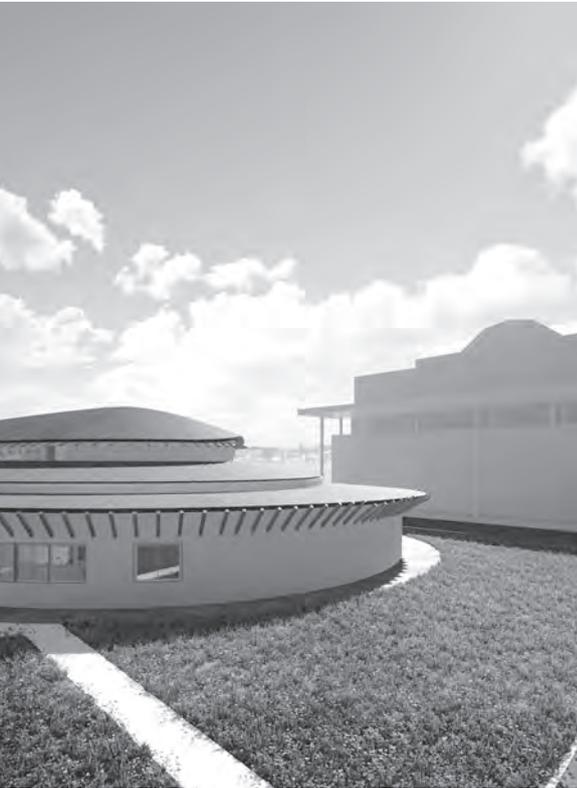
賛成13人

反対2人
(反対討論P13)

令和3年度は、前年度より1億3000万円少ない121億5200万円、前年度比1・1%減の予算となりましたが、前年度に引き続き120億円を超える大型予算となりました。

収入(歳入)

収入では、自主財源となる町税が、新型コロナウイルス感染症の影響を見込み前年度より6900万円減額となりましたが、ふるさと応援寄附金は約1億円の増額となりました。
依存財源は、地方交付税が45億円で全体の37・0%を占め、借金にあたる町債は、2億6300万円となりました。

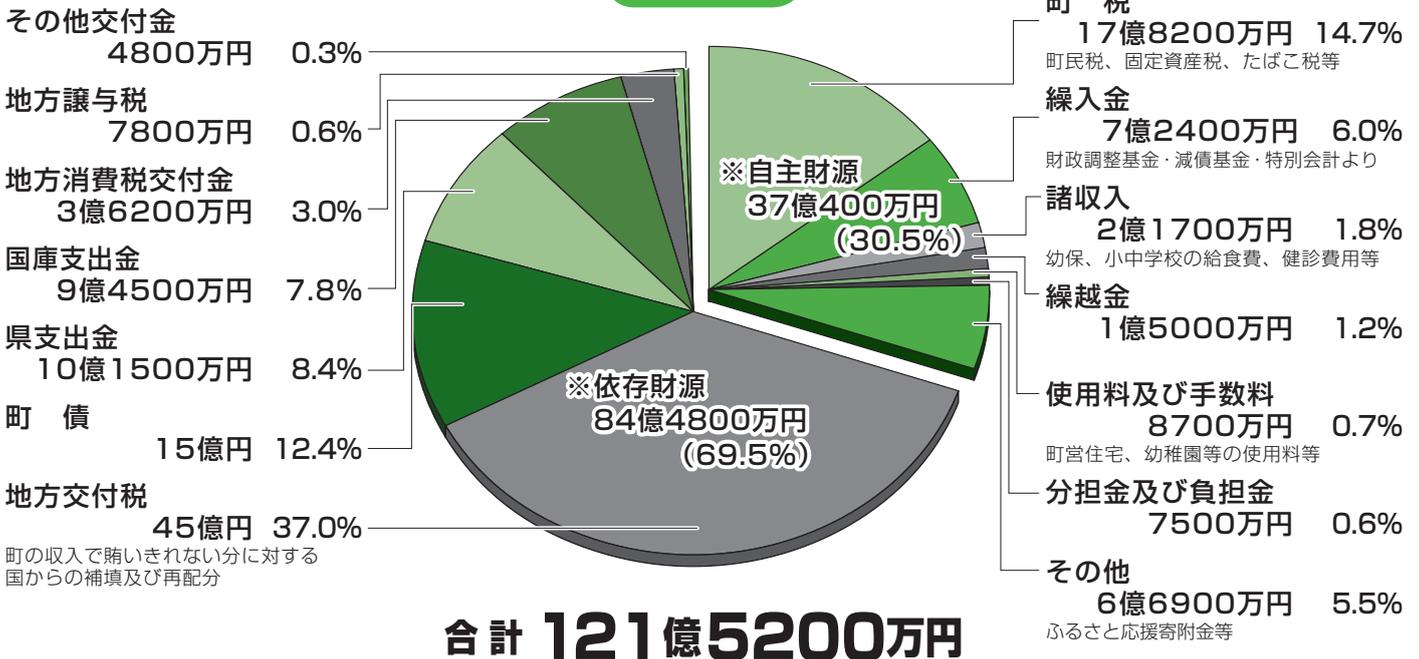


いよいよ着工

新図書館(イメージ)

すので、合計値と割合に差異があります。)

収入



令和3年度 予算

コロナ禍 のなか 2年連続の

今年の目玉 新図書館建設着工



支出(歳出)

支出では、普通建設事業費は図書館整備事業等により前年度より1億4500万円の減額となりましたが、補助費等で酒田地区広域行政組合への建設負担金の増により、前年度より1億4500万円の増額となりました。
主な支出事業費としては、図書館整備事業4億3059万円等です。

特別会計・企業会計

合計86億500万円

特別会計

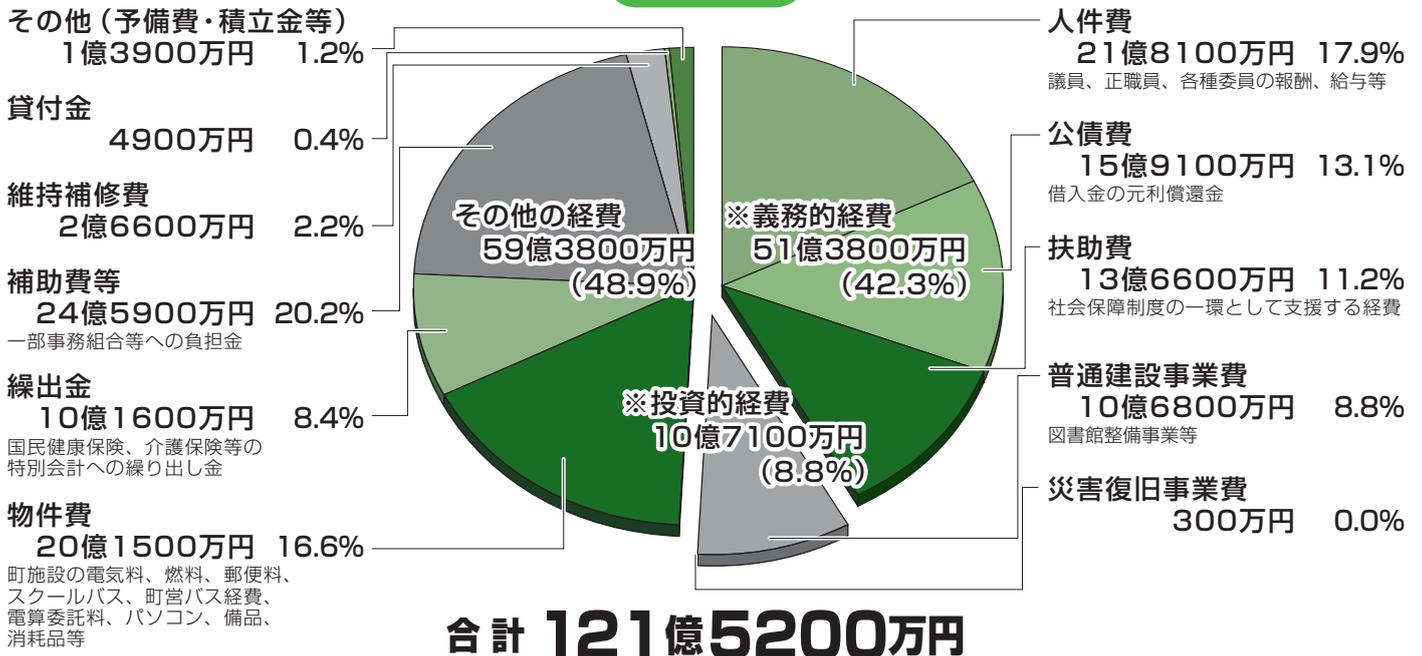
国民健康保険	20億8400万円	賛成全員で可決
後期高齢者医療保険	2億6300万円	賛成全員で可決
介護保険	29億7000万円	賛成全員で可決
風力発電事業	5100万円	賛成全員で可決

企業会計

水道事業	9億3000万円	賛成全員で可決
下水道事業	16億6700万円	賛成全員で可決
ガス事業	6億1000万円	賛成全員で可決

(各予算額を10万円台で四捨五入しています)

支出



交付金事業 補正予算の目玉



いち早く導入

税務町民課

非接触型決済の導入及び利用を促進し、感染拡大を防止することを目的としています。また、コロナ禍のなか、キャッシュレス決済利用者へポイント還元することで、消費の下支えも支援するものです。

20%還元
キャッシュレス決済導入
促進支援事業
2634万円

新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束の兆しが見えない状況が続いています。このような状況を踏まえ、本町において新年度早々に実施する事業です。
 補正額としては、収入支出予算の総額に、収入支出それぞれ9415万円を追加し、予算の総額を収入支出それぞれ122億4615万円とします。
 主な収入は、国からの地方創生臨時交付金です。



感染対策は今がチャンス

感染症対策のための住宅改築等、建設工事による地域経済の活性化を図るものです。

新型コロナウイルス
感染症対策
住宅建設支援事業
2000万円

UIJターナーの採用に取り組み町内事業者のPR動画を作成することで、地元雇用を促進させる目的のものです。

PR動画
庄内町
UIJターナー向け
町内事業者
情報発信事業
355万円



もっと知って地元の企業

第1弾 令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時



立派な花を育ててます

イベントの自粛などで生花の需要が落ち込み、生産者が大きな打撃を受けていることから、庄内町種苗センターを利用した花き生産者を対象に、苗購入代の2割を支援するものです。

花き種苗費支援事業

883万円



人材こそ宝

コロナ禍にあつて、業績等が悪化するなどしても解雇等を行わず雇用を維持した町内事業者を支援します。

中小企業雇用継続 奨励金事業

1803万円



合宿できたら最高

スポーツ文化合宿 支援事業

206万円

スポーツ・文化施設を利用し、町内の宿泊施設で合宿を行った団体へ、1人あたり2000円の宿泊費を補助します。

予算特別委員会

令和3年度一般会計予算と特別会計・企業会計を含む計8件の予算を3月9日・10日・12日に審査し、原案通り可決しました。

予算特別委員会とは

新年度予算が町民の幸せのために有効に使われるのかを審査します



委員長 小林 清 悟
副委員長 五十嵐 啓 一

予算総額 (特別会計含む)

207億5700万円どう使われるのか

- 所管課
- 総務課
- 企画情報課
- 環境防災課
- 税務町民課
- 保健福祉課
- 子育て応援課
- 会計室
- 教育委員会
- 監査委員会
- 選挙管理委員会
- 固定資産評価審査委員会

総務文教 厚生分野



未来の計画が大事

問 財政状況が厳しいなか、少子高齢化・人口減少など、今後これまで経験したことのない過酷な環境が待ち受けている。現在の予算や事業の適正規模を判断する材料として長期的な財政推計を出す必要がある。

町長 不確定要素が多いなかで先を見通すことが困難である。すでに作成している自治体の内容を精査してみたい。

長期財政推計を示せ
小野 一晴 委員

る。子や孫に付け回ししないためにも、そのツールとして作成すべきた。

財政シミュレーション

償還
いつまで続くのか

鎌田 準一 委員

問 都市下水路事業は市街地の排水対策事業として開始されたが、要した費用の償還（返済）完了時期はいつか。

町長 初期の事業については令和23年までとなっているが、以後の事業分もあることから継続的に償

還に充当される。

問 都市計画税に
ついては、受益者負担の考え方から

も、新たな考え方を検討する必要があると思うがどうか。

町長 都市計画を見直す時期も来ることから、税の徴収目的から基金化等が考えられる。

町民不安 大丈夫か

工藤 範子 委員

問 前年度末起債残高（借金）は161億5000万円

余り、町民1人当たり78万4000円になる。臨時財政対策債発行可能額は、昨年は6年まで同額の2億2000万円、昨年より3年

度は1億3000万の増、4年度以降も増している。地方債（借金）は留意すべきである。

公債費負担比率（借金の返済）にあてる比率は7年度まで警戒ライン（15%）を越えている。財政運営は大丈夫か。

町長 厳しいが、基本的ルールを守り努めたい。

生活環境

高齢者の除雪支援

國分 浩実 委員

問 高齢者世帯等除雪支援事業は

高齢者宅の除雪支援のみならず、障がい者就業支援施設が委託を受

けることで冬期間の施設外作業および、工賃向上策にもなっており、施設通所者の働く喜びにもつながり、長く継続すべき事業だと思いがどうか。

町長 町内に障がい者就業継続支援B型事業所が4か所あ

るが、工賃がまだ少ないということもあり、委託に関して事業所に声かけをした。その他の事業でも施設通所者の工賃向上につながるようにしたい。

町営バス 経路見直せ

加藤 将展 委員

問 高齢者の足を確保するため、

利便性の悪い町営バスの運行経路の見直し、デマンドバスや乗合タ

クシーの新規導入を検討すべきではないか。

町長 町営バスの運行見直しは行う。デマンドバス等の導入は検討していない。



都市計画を見直すとき



もっと便利に

立川総合支所

庄内総合高校

支援

支援学級開設望む

上野 幸美 委員

問 庄総高への支援事業額が1/3に減額、何故か。

町長 令和4年度の新体制に向け、支援のあり方を話し合いたい。

問 令和3年の志願倍率は0・31倍と厳しい。志願者増

加策として特別支援学級の開設を、県に要請してはどうか。

町長 支援同盟会と話し合い、県と



がんばれ庄総高

教育・文化

教育文化費削減せよ

長堀 幸朗 委員

問 図書館建設4億円余りの財源が地方債。延期せよ。

町長 必要なことは（お金あるなしに関わらず）すべてやってくる。

福祉

補助金減額の影響はどうか

澁谷 勇悦 委員

問 社会福祉協議会補助金は前年度比約120万円の減。会運営や事業展開、利用者への影響についてはどう見ているか。

小中学校改修等に40年間で226億円の予想。基金残高3億円。2割減となる児童生徒数。学校統廃合して教育文化費削減せよ。

町長 社協とも検討しての結果である。影響などはほとんどないものと考えている。

産業建設分野

所管課

- 建設課
- 農林課
- 商工観光課
- 立川総合支所
- 農業委員会

企業誘致

加藤 将展 委員

問 企業誘致は税金、雇用、Uターン就職、地元受注、消費の増大など地方創生に極めて有効だが、施政方針の言及がない。企業誘致はどう取り組むのか。

町長 トップセールスを行ってきたが、企業の動きを見極め判断していく。



まだ空いています

臨空工業団地

花き振興策

花き2名体制の
作業配分はどうか

阿部 利勝 委員

問

地域おこし協
力隊事業の花き
部門が2名体制となる
が、作業配置等どのよ
うに考えているか。

町長

令和4年の3
月着任を目指し
て募集を開始する。作
業場所は、同じく第一
種苗センター内で、ト
ルコギキョウ新品種栽
培を、引継ぎを兼ねて
2名で行っていた。



新品種 育てています 地域おこし協力隊員

堤防除草

事業委託できないか

上野 幸美 委員

問

京田川堤防除
草は、高齢化と
重労働作業のため、業
者委託の声がある。現
在3集落が委託であ
り、希望集落の作業委
託してはどうか。

町長

除草組合で協
議し、検討して
いきたい。



草刈は重労働

観光と誘客



つや美ちゃんを全国へ

秀逸したHPで
経済(コロナ)対策せよ

齋藤 秀紀 委員

問

コロナが収ま
るにつれ、スト
レス解消(観光が大)
が見込まれる。本町の
HPは、完成品ではあ
るが他自治体と代り映
えない。そこで、観
光ガイドであるつや美
ちゃんをHPで24時間

町長

鶴岡までの観
光客が庄内町に
足を延ばさないこと
は、残念なこと。観光
プロデュースのスキル
が高いことから、でき
ると判断する。

観光に特化した
担当者の任命を

五十嵐啓一委員

問

交流人口の拡大と、稼げる観光産業づくりには、各課から独立した強い発言力と行動力をもった方が必要ではないか。その担当を、副町長の直属か、観光協会会長の特命にし、一定の権限を持たせて業務にあたらせ従来と違った施策を展開すべき

ではないか。

町長

本町の観光施設は地元の支援者とともに、それぞれ独自に活動を展開している。今後は、誰がどのように目標を示すかが重要である。民間の風力発電事業の協力金の活用も検討し、実施を目指す。



成功のカギは誰か

問

農村公園の管理は建設課、管理経費は農林課。わかりにくい。同一課とすべきでないか。

町長

一定のルール内で行っている。現段階ではできない。

澁谷 勇悦委員

公園管理

経費と管理

同一課にせよ



道路建設

歩道整備の優先順位は

阿部 利勝委員

問

区画線の優先順位はどのようになっているか。

町長

通学路等、安全性が求められる道路の白線とグリーンベルトを優先している。

商工費増加せよ

長堀 幸朗 委員

問

産業活力日本一をあげながら、商工費が2・5億円に削減された。プラス2億円にして狩川地区等に賑わいを。

町長

結果が確実でないと言算化できない。

集落要望との整合性は

石川 保委員

問

町道茶屋町廿六木線の測量経費が予算化された。場所、目的は何か。また、この路線は、学区で優先順位を決定している。集落要望にはない。ルールにのっとり進めるべきであり、どう調整するのか。

町長

庄内総合高校へのアクセス向上のため、集落西側の道路から、学校正面入り口に直接繋がるルートを考えている。令和4年から、新しい体制で学校がスタートすることから、集落要望には載っていないが、理解していただけたと思う。



道路 ここをまっすぐに

特別会計 企業会計 部門

- 国民健康保険
- 後期高齢者医療保険
- 介護保険
- 風力発電
- 水道事業
- 下水道事業
- ガス事業

風力発電事業

買取り契約終了後の
対応はどうか

五十嵐啓一 委員

問

本町の風力発電買取り契約は平成25年度で終了したのではないかと。今後の事業継続の考えはどうか。また、新制度の中で收支のバランスはどうなるのか。

町長

現行の買取り価格での契約は終了するが、これまで発電装置の修繕等を行い、新買取り価格（現行の半分以下）になっても維持できる対応をしてきた。

また、隣接する発電事業者同様な状況にあるので、事業展開のため協議をしていきたい。



いつまで続く町営風車

水道事業

広域化急げ

石川 武利 委員

問

水道事業の広域化については、人口減少や節水機器の普及、維持管理増人件費等の変化に対応し、安定した価格の確保が求められるためと思うが広域化についてどう思うか。

町長

今後も広域化に向けて進めていきたい。

ガス事業

どうなる民営化

石川 武利 委員

問

ガス事業の民営化については、人口減少やオール電化への転換により、供給減少と、原料ガス価格の高騰により経営状況は予断を許さない現状である。民営化についてどうか。

町長

将来は考えられるが、現在は考えていない。



東北一安いガス料金

町民の 声を聴く

開かれた議会へ

第4回議会参考人招致

予算特別委員会において2人の町民に参考人として意見を述べてもらいました。

※要約、抜粋で掲載

《氏名》堀 香織
《所属》たんぼほの会代表
《集落》表町



担当議員 上野幸美

(参考人)

特別支援学級に在籍している息子や、通常学級で発達障がいの可能性が疑われる生徒も、行ける高校が限られているのではないかと考えています。

(議員)

私立高校への入学も可能と聞いています。鶴岡高等養護学校についてはどうでしょうか。

(参考人)

私立高校は、入学金・授業料が高く、鶴岡高等養護学校は募集定員が16名と少ないのが現状です。庄内総合高校の特別支援学級に自立訓練のできる環境

ができればありがたいと思います。

(議員)

障がい者相談支援センター(B棟)について、会の皆さんなどからはどのような声が聞かれますか。

(参考人)

ひまわり園の隣は、人目に付きにくく相談に来るのに最適な場所でした。できれば元あった場所(ひまわり園)に戻してほしいです。

新庁舎は、各課がオープンで手続きにも、勇気を出さなければいけない環境に見えます。

また、集まり話せるスペースがないため、たんぼほの会では、社会福祉協議会の場所を借りて活動しているのが現状です。

(議員)

災害時の避難所についてお聞かせ下さい。

(参考人)

障がい児者専用の避難所を確保できないか

と思っています。

知らない場所に行くことで、心身ともに不安定になり、動き回る、声を上げるなどで居づらくなり、家に帰ることにならないか、保護者の多くが心配していると思います。

《氏名》本田貴廣

《職業》豊店、商工青年部
《集落》吹払(狩川)



担当議員 石川 保

(議員)

はじめに、参考人をお引き受けいただいた理由などお話しください。

(参考人)

以前、商工会青年部で開催した町長との座談会で、立川地区は雄大な自然を生かした地域づくりを行う方針と伺いました。自然を生かすなら、

楯山公園やウインドーム、ホテルの里、荒鍋の「かっぱ池」などがあります。

が少なく荒鍋の「かっぱ池」では、雑草が生い茂り整備が行き届いていない印象があります。

にぎわいの機会を逃しているようで残念でなりません。

(議員)

産業建設常任委員会調査報告書の提案についてはどうですか？

(参考人)

ウインドームを含めた風車村一帯の振興策を提案いただいたことは、うれしく思いました。

遊具のバッテリーカーでの収益が100万円ほどありました。そのことから、運営を継続することで、継続的な収入を得ることができると予測されます。

ささやかでも収入が得られれば、改修や整備へかかる予算として充てることができるのではないのでしょうか。

(議員)

現在検討中の立川総合支所の改修では、すでに基本設計の内容が議会に示されています。施設の利活用として、思うことはありますか。

(参考人)

コワーキングスペースは、時間や場所に捉われない働き方に対応するため、無料Wi-Fiを整備し、オンライン会議や、対面でのイベントが難しい現状を捉え、ネット販売やWeb展示会などの検討を進めてはどうでしょうか。

コロナ禍の状態で行うのは難しいと思います。しかし、その後を見据えて準備することも重要です。町として一考していただければと思います。

※詳しい発言の内容等は、議会中継録画より視聴できます。



令和3年度予算

これでいいのか

討 論



工藤 範子

財政危機で町民要望に 応えられないか

令和3年度一般会計の前年度末起債残高(借金)は161億5200万円余り、4年度になると162億400万円余りとなる。起債残高(借金)が増えることにより、町民サービスの後退に繋がりが町民負担になる。身の丈に合う財政運営をすべきである。公債費(借金の返済)負担比率は、令和3年度から7年度まで警戒ラインの15%以上である。借金のつげが後世の負担になるのである。大型事業は負担

比率が改善してから取り組むべきである。臨時財政対策債発行額は、昨年のシミュレーションでは、令和2年度から6年度まで同額の2億2000万円である。2年度より3年度は1億3000万円増で、7年度まで増えているが、対策債も借金であることには変わりはない。

元年度の経常収支比率は99.4%であり、町民サービスは維持できるのか。庄内町消防団補助金は、昨年度の委員会指摘したにも関わらず、未だに要綱も整備されていないのは職務怠慢ではあり、責任をもって取り組むべきである。要綱に基づかない支出には納得できない。

児童福祉支援事業は、ひとり親等の低所得者に対し生活応援とあるが、ひとり親だけが低所得者ではない。両親揃っていても低所得者が多くいる。困窮者の声に応えるべきである。



長堀 幸朗

市街地排水対策工事に300万円計上されているが、住民は雨が降るたびに夜も眠れない心配を放置してはならない。関係団体と協力して抜本的な対策を講ずるべきである。コロナ対策の予算は計上されていないが、国の第三次補正の地方創生臨時交付金の活用をみて順次示すとしているが、コロナ禍で苦しんでいる町民は厳しい状況である。しっかりとした対応策を講じるべきである。常に時代の課題に向き合い、執行においては、職員が町民と深く結んで、要望、意見を練り上げて、町民から信頼される町政確立に努力すべきである。

令和3年度一般会計予算を承認しません。財政シミュレーション。公債費負担比率が令和3年度18.7%、今後5年間で危険ライン20%にほぼなる見込みだからです。経常収支比率が99%以上であるためです。

この公債費負担比率20%危険ライン、なんとか硬直化スレスレにとどめられたのは、町財政管理集団の、苦肉の策、この、多大な努力を、評価し、承認する、を私はしませぬ。財政用語的には健全に分類されるようですが。公債費負担比率は15%以下、であるべき。経常収支比率は70%から80%、であるべき、とされ、これを守って予算を組むのが町役場の役目、と考えます。これを守ってこそ、誇れる町、と考えます。今こそ立ち戻る時です。いろいろな建築物はもつと小さくつくるべきであり、その方が町民業者が直接的に建設できて、その建

設費、何十億円、とか、町民業者に直接渡ることになり、町民業者が繁栄発展できると考えます。実は、たいへんな財政難状況、と私は考えています。新型図書館建設も延期すべき。今ある古い建築物で代用するやりくりを。町役場新庁舎についても。この強い考え方は、町民全体の過半数をこえないにしても、多くあると思えます。

町役場が、これをはじめのしめから守る方針でないことを私は認めません。町議会に對しても、です。基金として全額積み立てから建設すべきです。町外県外は高く評価してくれ、結果的に大きな幸せになると考えます。人口増で右肩上がりの急成長の時代ではありません。

※賛成討論は
ありませんでした。

補正のポイント

令和2年度
補正
予算

令和2年度の一般会計補正予算（第11号）は、収入支出それぞれ1億8579万円を追加しました。主な支出は、余目中学校トイレ改修工事事業1億150万円や道路工事等8900万円、広域行政組合分賦金の追加931万円等です。主な収入としては、ふるさと応援寄附金の1億8000万円等です。

余目中学校トイレ改修工事事業

1億150万円

主に和式から洋式トイレに改修するものです。



洋式化で使いやすく

道路工事

8900万円

主な工事としては、吉岡・廻館線道路改良工事等です。

介護給付費・訓練等給付費の追加

3416万円

障がい福祉サービス利用者の増加等によるものです。

町有財産を無償譲渡

1. 中島ふれあいセンター（庄内町肝煎字内中田29番地2）が、中島自治会に無償譲渡されます。
2. 緑町団地集会所（庄内町狩川字堂ノ下27番地4）が、緑町自治会に無償譲渡されます。

無償譲渡する日 令和3年4月1日



大事にします

中島ふれあいセンター

クラウド利用料の追加

1300万円

ふるさと応援寄附金の増額による経費です。

議案

庄内町学校適正規模・適正配置審議会 条例を設定 賛成13 反対2 可決

学校の今後のあり方

児童・生徒数の減少が進んでいることに加えて、耐震改修工事を行ったものの学校施設の老朽化が進んでいる現状があります。そのため、今後「将来を見据え学校統合を行うか」、「学校を残しつつ小規模校の良さを生かした学校づくりを行うか」などの検討を深め、活力ある教育環境の実現を目指すために審議会を設置することになりました。

本議案の討論では、反対2人、賛成1人が登壇しました。



子どもたちのための審議を

指定管理者が決まりました

指定の期間	指定管理者	施設の名称	指定の期間	指定管理者	施設の名称
令和3年4月1日から 令和8年3月31日まで	庄内町余目字大塚5番地1 一般社団法人 庄内町総合型 スポーツクラブコムetchわくわくクラブ 理事長 齋藤 慎	庄内町相撲場 庄内町笹山グラウンド 庄内町笠山グラウンド 庄内町南野グラウンド 庄内町余目グラウンド 庄内町体操センター 庄内町体育センター 庄内町武道館 庄内町多目的広場 庄内町ソフトボール場 庄内町サッカー場 (愛称 ほたるドーム)	令和3年4月1日から 令和8年3月31日まで	庄内町文化創造館 響ホール 響ホール事業推進協議会 会長 清野義勝	庄内町文化創造館 響ホール

臨時会
1月26日
2月17日

1月26日に臨時会を開き、令和2年一般会計補正予算(第9号)は、収入支出それぞれに1億4247万円を追加しました。主な追加は1億8800万円の除雪作業委託料です。賛成全員で原案通り可決されました。

2月17日に臨時会を開き、令和2年一般会計補正予算(第10号)は、収入支出それぞれ3706万円を追加しました。主な追加は182万円の余目中学校特別教室棟屋上防水改修工事で、他に年度末に向けてコロナ関連の臨時交付金事業の確定による減額です。賛成全員で原案通り可決されました。

町民の幸福を目指し 13人登壇

町政を問う



明日に向かって翔たく

庄内平野の白鳥

一般質問

3月2日
4日
5日

全質問・全文は



庄内町議会 HP

質問全項目（質問順）

●印を掲載しています

- 小林 清悟 議員
○ 政治姿勢について…………… P 17
- 上野 幸美 議員
○ 新型コロナウイルス禍への対応について…………… P 17
- 工藤 範子 議員
○ 都市計画税について…………… P 18
- 県立庄内総合高等学校への支援について…………… P 18
- 政治姿勢について…………… P 18
- 補聴器購入費の助成について…………… P 18
- 五十嵐 啓一 議員
○ 原田町政の主要事業の成果と今後の取り組みについて…………… P 18
- 長堀 幸朗 議員
○ 「山形県民限定山形県支援事業やまがたプロスポーツ応援キャンペーン」の町民参加について…………… P 19
- 本町の評判について…………… P 19
- 鎌田 準一 議員
○ 響ホールの今後について…………… P 19
- 加藤 将展 議員
○ コロナ禍における経済刺激策等について…………… P 19
- 大雪時の雪下ろし、生活道路等の除雪…………… P 19
- 国分 浩実 議員
○ 消防団について…………… P 20
- 新武道館について…………… P 20
- 阿部 利勝 議員
○ 農業者年金について…………… P 21
- 遊休農地について…………… P 21
- 区長制度について…………… P 21
- 澁谷 勇悦 議員
○ 農村公園の管理と自治会の負担軽減等について…………… P 21
- 齋藤 秀紀 議員
○ 町からの文書配付について…………… P 22
- 防災について…………… P 22
- 小野 一晴 議員
○ 新型コロナウイルス対策について…………… P 22
- 第3セクターについて…………… P 22
- 財政シミュレーションについて…………… P 22
- 石川 保 議員
○ 町長の政治姿勢について…………… P 23

※通告書のまま掲載しています。

政治姿勢

マニフェストを達成せよ

町長 ハード的には9割以上達成



小林 清悟 議員

問

町長は、平成29年度の町長選挙において、マニフェストを発表した。重点項目が5つで構成されている、5本の柱からなるマニフェストだが、任期の4年間で経過しようとしている。マニフェストの達成状況を、どう判断しているのか。また、町長の判断で、マニフェストの達成率については、何パーセント位とみているのか。

町長

4年ごとのマニフェストを出しており毎回検証して

きた。

具体的な事業として10の事業を挙げて行ってきた。新しい事業についてもすべて取り組み道筋はついていて考えていた。ただし、新型コロナウイルスの影響で観光の部分については日本全国どうしようもない状況である。

マニフェストの達成率は、総合的な見方は

難しい部分はあるが、ハード的なものについては9割以上、ソフトの部分はまだまだこれからと考えている。



マニフェストは政治公約

コロナ禍対応

2年目、把握し対処せよ

町長 令和3年度に準備、調査したい



上野 幸美 議員

問

「しようない氣龍祭」は、災いを祓う意味でもどうしたら安全にできるかを考え、景気回復も含め、地域の理解と協力を得て開催すべきであるがどうか。

町長

実行委員会で8月に開催する方向で準備を進めており、地元の方や学校、幼稚園の方へ協力をお願いをしている。ただし、コロナ禍での開催になるので、国・県が示すガイドラインに則して準備を進める。

問

独居高齢者の状況を把握すべきであるがどうか。

町長

独居高齢者の状況を直接現場に出向いての調査はしていないが、令和3年度、聞き取り調査を行いたいと思う。

問

産後うつ者が増えている。里帰り出産の困難妊産婦に、民間等を活用した育児等支援サービスの

町長

産後うつについてとはとても心配していた。本町では新生時期から早めにも全戸訪問し、うつ傾向が高い方には事細かに支援を継続している。



龍はコロナに負けるな

※産後うつ：「産後うつ」とは、出産後数週間から数ヶ月の時期に極度な気分の落ち込みを感じる「うつ病」の一種といわれているもの。

都市計画税

廃止せよ

町長 廃止では他事業の整理等も考えなければ



工藤 範子 議員

問

都市計画税は12月議会で質問し、同じ町に住んでいて区域内（23集落）は課税、区域外は課税が無い、不公平であると質した。答弁は、将来に向け税をどのように出来るかと、併せて検討すると答弁した。課で話し合いされたのか。

税は下水道償還の補填財源にも活用している。今後の工事見込みもない、税の徴収を続けるのか。償還終了は令和22年までで、徴収額は約13億円にもな

る。不公平であり、廃止すべきである。

町長

都市計画税は、都市機能の維持・推進に活用されている目的税であり、都市計画区域内で実施した対象事業に対しての貴重な財源であり都市計画税をその償還に充てるというのは、当然と思う。

都市計画税を廃止することは、区域外の人

にも負担いただくことになり逆に不公平になるのではないかと。

償還は今後も続くので、都市計画税を廃止した場合は、その財源がなくなり、他の事業をやめる、整理するなども考えなければならぬ。



都市計画税は公平か

クラッセの新店舗

地元の飲食店の影響は

町長 他の飲食店への誘導も図る



五十嵐啓一 議員

問

クラッセで営業していた、やぐけつちやーのは昨年5月で営業を停止した。町は新たにテナントを公募し、町内の大手の会社が焼き肉をメインにした居酒屋風店舗が、今年4月にオープンする。この店舗が営業をすることにより、本町の食堂や居酒屋に与える影響はないのか。また、テナント料金はやくけつちやーのと同額の6万円である。同規模のテナント料と比較しても大幅に低い料金である。テナ

ント料の増額を求めなかったのか。

町外からお客様呼び込むことも一つの目的として、新規顧客の獲得に期待を感じている。また、本町にはいろいろな飲食店があるので、他の飲食店への誘導も今後図ることができるとは思わないかと考える。

町長

使用料は条例で決まっている。町全体の賑わいを図るためにレストランを募集したが、その中にはチャレンジシヨップ的な意味合いもあり、低料金とされている。今後の料金改定については、使用料条例も含めて検討する。



装い一新 千客万来

プロスポーツ 町民応援

今後の応援計画は

町長 令和3年度は考えていない



長堀 幸朗 議員

問

「山形県民限定山形県支援事業やまがたプロスポーツ応援キャンペーン」の町民参加については、町民が応援観戦に行く絶好の機会だった。補助金制度もあった。いかに活用したのか。

町長

プロスポーツ応援キャンペーンは、あくまで個人を対象とするもの。一方、プロスポーツ支援団体活動応援事業補助金については、応援に係る各事業を主催する団体に対して補助するもの

問

であるが、本町では活用はしていない。対象であるバスケ山形ワイヴァンズ、サッカーモンテディオ山形、そして特に隣接の酒田市が本拠地であるバレエボールチーム、アランマーレについて、今後の応援の計画はどうか。

町長

応援ツアーを行っていた町村



これからどうする

響ホール

芸術祭 新たな考え立ち上げよ

町長 町が主催 実行委員会が運営



鎌田 準一 議員

問

芸術祭の中心的な事業に音楽祭があるが、近年、入込数が低調に推移している。本町の芸術祭は芸文協と響ホール事業推進協議会の2組織が担っているが、互いに違う組織の実行委員会形式とするのではなく、町がメインとなる芸術祭とすべきでないか。

町長

令和3年度は、会場費のことを考慮させていただき、町が主催という形にすることで調整をしている。ただし、あくまで町が主催をしながらも実行委員会が運営をしていくという体制である。

問

諸団体の発表の場とするほか、町民と共に楽しむ祭りとする工夫が必要で、鑑賞事業の一つを音楽祭のメインイベントとして企画するなど、文化芸術の創造活動を支援していくべきでないか。

町長

鑑賞事業を芸術祭に組み合わせる。芸術祭は長い期間響ホールを会場に様々な事業が行われるので、他の事業を入れることで、どこかの事業が外れたりしないかアーティスト等との調整が必要と思う。



芸術祭は晴れ舞台

※芸文協：庄内町芸術文化協会の略称

大雪対策

道路除雪と雪下ろしを支援すべき

町長 支援拡大などを検討



加藤 将展 議員

問

集中的な大雪により、住宅街

では通学路や歩道の除雪が十分でなく、車道を歩く人も見かける。

除雪対策を講じるべきではないか。また、生活道路の除雪作業は補助制度の上限を超えた自治体が多い。追加支給の実施と今後の豪雪時の弾力的運用を検討すべきではないか。

町長

路線延長の増、機械の保有

台数から、全路線の予定時間内の完了は厳しい状況。なお、より良い除雪の方策に向け

て検討していく。

生活支援道路除雪事業補助については、実施日数を拡大することを検討している。

問

中山間地の雪下ろしに大きな

影響が出た。雪下ろし業者の新規参入要請や雪下ろしの支援制度の適用拡大、命綱の固定器具設置補助の明示について検討すべきではないか。

町長

高齢者雪下ろし事業では、地区を超え対応可能な事業者などから協力をいただいている。

支援制度の拡大については、今後の課題として検討させていただく。

「命綱の固定器具設置補助」は詳細な様式に記載している。なお、もう少し、分かりやすいチラシに改良する。



余目でも車がすっぽり

消防団報酬

見直しすべき

町長 令和4年度改定を考えている



國分 浩実 議員

問

庄内町消防団の報酬は、一般

団員で1万9000円となっており庄内地方では一番低い。

白鷹町では国の交付税算定額3万6500円を踏まえて2021年度から報酬を改定することになっている。本町でも改定すべきかどうか。また報酬の支給方法についても団員の家族などから、団員個人に行き渡っていないのではないかとの声が上がっている。総務省消防庁では、団員は非常勤特別職の公務

員であることから、個人に渡すべきとしている。今後の対応はどうか。

員であることから、個人に渡すべきとしている。今後の対応はどうか。

町長

一般団員の報酬は2万円以上

にするよう消防庁からも技術的助言を受けているので、他市町村の動向も見ながら手当て合わせ、令和3年度中に消防団と協議をしていき、令和4年度から改定できるように考えている。

ている。

団員個人の報酬は、その約8割が手渡ししているなかったので、個人へ渡すよう幹部会で申入れをした。支給の仕組みについては、幹部より団員へ説明していただくこととしているが、なお団員が理解されるよう努力していきたい。



団員の活動に報いる

区長制度

広報配布 選択制にしては

町長 現段階では難しい



阿部 利勝 議員

問

新区長制度への移行に伴い、区長からは戸惑いの声も聞くが、町はどのよう

町長

は、これまで大きな負担となっていた広報の全戸配布、個人宛の文書配布などを廃止し負担軽減を図った。なお、制度改正については平成30年度から自治会長等へ趣旨や変更点など説明を行ってきた。今後も業務分担、区分をお知らせしていきたい。

問

配付物の中で、個人宛の文書郵送は問題ないものの、広報紙の配布においては、配布システムが確立している集落も多く、地域の「見守り隊」的な役目や集落によつては自治会長の手当的な部分もあったことから、広報紙の配布を希望する集落もあると聞く。配布は契約期間を決めるなどにして

町長

各集落の選択制にしてはどうか。広報紙の配布はシルバー人材センターに委託した。一年経過し大分慣れてきた。選択制は、配布集落が毎年変わることも考えられ、人材を確保する委託先にも迷惑をかけるので難しい。



はっきりしない区長の仕事

農村公園

自治会の負担軽減を図れ

町長 意見交換し判断する



澁谷 勇悦 議員

問

14箇所のほとんどは地元自治会が管理している。「人口減少・高齢化等で従事者の確保が難しく、また自治会の経費負担が増している。現行のままでの管理は難しい。」との声も上がっている。

町は、関係自治会との話し合いの場を設け、その実態を把握し、まずは自治会の負担軽減を図った上で、公園持続の要否・他用途による利活用など、農村公園施策を構築すべきではないか。

町長

農村公園は、農村整備事業で地元と町との協調により設置を進めた経緯があるので、過去の経緯も含めていろいろお話を聞かせていただければと思っている。今は、実際に遊ぶ子どもたちも少なくなくなり、または誰も来なくなつてしまった集落もあるので、本町にある農村公園全体を見ながら今後の農村公園の持続、これが本場に必要なのか必要でないのかという観点も含め、将来の利活用の方法についてお互いに意見交換をしながら判断をしていく。

農村公園は、農村整備事業で地元と町との協調により設置を進めた経緯があるので、過去の経緯も含めていろいろお話を聞かせていただければと思っている。



誰か遊んでくれないかな

防 災

防災力を高めよ

町長 活動の活発化を進める



齋藤 秀紀 議員

問

東日本大震災から10年になるが、活動していない自主防災会（約半数）に対しての方策はどうか。また、民間資格防災士の取得費用は全額助成している。結果、115集落からすると少ない、積極的に勧めるときでないか。

町長

自主防災会に対しては、簡単に分かるような自主防災組織の行動マニュアル、避難マニュアルの集約版を研修会で説明して集落でも確認してもらおう。また、防災マップとマイ・タイムラインも大変有効と思う。具体的に行える事業なので、これをきっかけに活動を活発化させていきたい。

防災士の取得費用については、養成講座の参加費用全額を補助するための予算を計上している。



意識を高めよ

第3セクター

3セクを経営改善せよ

町長 見直しが一定必要



小野 一晴 議員

問

現在の3セクの経営は、町の公的支援なしでは成り立たないのではないかと。

特にふるさと納税の返礼品を一手に委託した事業の利益に支えられている。同事業が好調なうちに、町が主導して経営改善すべきではないか。

町長

経営状況は時代とともに変わるもので、環境を見直す時期がある。次のステップへの考え方は、町が主導した形での見直しが必要だろう

と思う。

コロナ禍によっていろいろな課題が浮き彫りとなり、ある意味、見直しをするいい機会でもある。将来どのような形で運営をしていくのか、検討する時期に入ってきたと思う。

問

まちなか温泉は、議会が反対する中、町長が「赤字にしない、必ず黒字にする」との強い覚悟を

町長

示して逆転可決した経緯がある。同事業の赤字の結果責任は町長にあると思うがどうか。町は、第3セクターとして任せたとその内情について責任を持ち、雇用の問題などについて協力・支援をしていくことは必要と思う。



どうする町湯

※3セク：第3セクター（国や地方公共団体と民間組織が共同出資する事業体）の略称。

政治姿勢

声が大きい「町長をいつまでやるのか」

町長

理解される努力を徹底し選挙を迎えたい



石川 保 議員

問

原田町長は4年前、合併の総仕上げを掲げ4選を果たしたが、多選を批判して当選した町長が、一体いつまで町長を続けるのかという町民の声は大きい。今回も、立候補しない選択肢はないとして、意欲を持っていくようだが、何を指して立候補するのか。

前回も、諺の「画

竜点睛を欠く」を引用し、現職がすべきことは立候補ではなく、後継に道を譲ることだと指摘した。これまでの

手腕を評価しつつ、そのような考えはないか。

町長

次期町長選挙への対応については、「あなただったらどうするか」という客観的な視点で考えた。

最優先は、新型コロナウイルスを完全収束まで行ってもらいたい。その他いろいろな課題がある中で辞めるということは

無責任の極みだと思

う。

また、全国町村会副会長、県町村会長という立場から国・県との繋がりがあり、最新の情報を入手できる。

私個人としては皆さんのご意見を聞きながら、なお一層ご理解いただける努力を徹底しながら選挙を迎えたい。



努力を徹底したい

庄内町議会
6月定例会のご案内

6月8日(火)～16日(水)予定

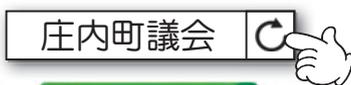
ぜひ傍聴にお越しく下さい

インターネット
中継

庄内町議会のホームページから
アクセスできます。

マスク着用
厳守

① 庄内町議会で検索



② トップページ画像下の



をクリック

③ スマートフォンなら



のライブ ボタンをクリックするなど。

- ★ 立川総合支所、各地区公民館、図書館ロビーでも議会中継をご覧になれます。
- ★ 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- ★ スマートフォン、タブレットなどでも議会中継、録画映像を視聴できます。

※ 4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用できます。なお、介助が必要な方は、議会事務局 (TEL 0234-42-0189) へお申し出ください。

検温、手指消毒、マスク着用のコロナ対策にご協力下さい。発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

会 報 告

総務文教厚生 中間報告

障がい福祉について 継続調査 ～誰もが安心して暮らしていけるために～

本町の掲げる「障がいのある方もない方も、高齢になってもすべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう」について、調査しましたが、課題も多く、調査を継続することとし、3月定例会で中間報告を行いました。意見の概要を紹介します。

※詳細は議会ホームページより閲覧できます。

相談支援・通所送迎 庄内圏域に設置望む

生活介護事業所

特浴※できる施設は、第2次庄内町総合計画後期基本計画に、重症心身障がい児支援事業所の確保として、令和7年度まで庄内圏域に2事業所を確保したいとある。

その一つを本町に設置されるよう関係者とともに行動すべきである。

通所事業の送迎

保護者の送迎の負担を軽減できる施策を検討すべきである。

広域連携

庄内地域医療的ケア児支援連絡会議や庄内地域療育支援部会など、あらゆる機会を通じて庄内圏域での各施設の状況を精査すべきである。また、同デイサービスを受ける際の地域による格差を併わせて精査し、その解消に努めるべきである。

相談支援体制

相談支援センターを、悩み事を気軽に相談できる施設として開設したが、アンケート調査によると不満であるとの回答があった。その解消に向けて調整すべきである。

また、令和5年に立川総合支所がリニューアルオープンする予定であ

る。その支所内に、障がいを持つ子どもにも保護者が情報交換しながらリフレッシュできるスペースを設けるべきである。

継続調査

この調査をより深めるために、複数の障がい者の保護者団体代表に参考人を依頼し、聞き取り調査を実施したところ、新たな課題があることが分かった。

「新たな課題」

- 発達障害
- 教育環境

この二つについては、調査が不十分であり、調査目的にある「障がいのある方もない方も高齢になってもすべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう調査する」を達成するため継続して調査をすることとした。



アンケートでは不満の声が

※特浴：ストレッチャー（担架）を使ったまま入浴できることなどをいう。

常任委員

産業建設 本報告

清川・立谷沢周辺の魅力再発見 ～知られていない魅力を生かすために～

清川地域周辺や月の沢温泉北月山荘周辺及び立谷沢川流域は、稼げる観光産業づくりに繋がる拠点としての可能性があることから、これら観光資源と魅力を再発見し、地域の観光振興施策に資するために調査し、3月定例会で報告しました。意見の概要を紹介します。
詳細は議会ホームページより閲覧できます。

豊かな自然の魅力と地域資源を生かす

清河八郎記念館

意見（抜粋）

遺品資料の中の、漢文に関する資料のほとんどが、難解で解読されておらず、人物像や歴史資料価値の発見に繋がっていない。

清河八郎の新たな明治維新への貢献や人物像の発見に繋げるためにも、多くの漢文資料を正確に解読できる学芸員などの採用・配置について支援を考慮すべきである。

歴史公園と御殿林

意見（抜粋）

清川歴史公園を庄内地方の周遊ルートの立ち寄り拠点とするためには、大型バスの駐車スペースが不足しており、確保すべきである。同時にトイレの数も拡充すべきである。

御殿林の遊歩道は、清

川歴史公園と清河八郎記念館をつなぐ導線とすべ

きであるが、雨水の浸透性が悪く、雑草が生育するなど歩き難い。

木片チップを利用した遊歩道とするほか、御殿林の歴史や自然などを伝える案内板等を設置すべきである。

羽黒古道

意見（抜粋）

羽黒古道は羽黒山参りの本来の表参道であったこと、羽黒山本社創建の地と伝えられる「皇野」や蜂子皇子の墓や神社、銅鏡が納められていた鏡池などについて、羽黒古道の観光ガイドブックなどを作成し、情報発信す

べきである。

御殿街道

意見（抜粋）

西の羽黒古道、東の殿様街道として、町でもトレッキングコースとして利用しているが、自然豊かな景観のビューポイントや歴史的痕跡を説明した案内板を設置するなど、魅力を発信すべきである。

周辺の魅力

世界施設かんがい遺産の北楯大堰、日本登録有形文化財の六淵砂防堰堤、ジュンサイの宝庫大池、水稻品種のルーツ亀の尾の発祥の地熊谷神社、水芭蕉群生地の大谷地湿原、砂金・化石の探掘地、奇形のフナが生息する長者沼等、魅力の再発見と発信をテーマに、意見を付し報告しました。



海だと聞いてビックリ

化石探掘地（科沢）

感想 (抜粋)

- ・マスクをしている為、聞きとれない。
- ・町長の返答が前向きだったので良かった。
- ・一度ではわからない。
- ・質問の資料が手元にないので何とも言えない。
- ・細かいやりとりがあり、傍聴席にテーブルがあり、良かった。
- ・新武道館について、(教育長の発言)スクールバスの発着所を変える案が良いのではないか。
- ・消防団員手当は班対応で良い(現状)と思います。
- ・班内での出席率もある訳で、活動者と欠席者が一律同じ手当配付でいいものかと言っ疑問もあります。

アンケート集計結果より

- ①傍聴にきてよかった。 12人中10人
- ②やりとりがよかった。 12人中10人
- ③その他
- ・町の動きがわかった。
- ・勉強になった。
- ・議会が頑張っていることがわかった。
- ・ネット中継で十分だ。
- ・一度の傍聴では、わからない。

傍聴者は合計16人でした。
短時間の傍聴も可能です。



3月 定例会 傍聴者数		
2日(火)	議案等審議・一般質問	2人
3日(水)	// (令和3年度予算上程)	0人
4日(木)	一般質問	2人
5日(金)	//	10人
6日(土)	休会	
7日(日)	休会	
8日(月)	各常任委員会	0人
9日(火)	予算特別委員会	2人
10日(水)	//	0人
11日(木)	各常任委員会	0人
12日(金)	予算特別委員会	0人
13日(土)	休会	
14日(日)	休会	
15日(月)	議案等審議	0人



次回定例会は、
6月8日(水)~16日(水)
の予定です。

6月定例会(予定)	6月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	⑬	⑭	⑮	⑯	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			



議員報酬と定数を考える

庄内町議会議員なり手不足解消調査特別委員会 調査報告書具現化検討特別委員会

調査項目を追加

これまで、議員任期の4年目に、適正な議員定数、報酬について調査するため議員定数等調査特別委員会を設置してまいりました。前回の平成29年には議員全員で調査にあたりました。今回は町民も交えた検討会議の内容を、なり手不足解消調査特別委員会報告書を具現化するための、調査報告書具現化検討特別委員会（以下、具現化委員会）を設置してまいりました。そのため、議員定数等調査特別委員会を設置せず、具現化委員会で報酬（政務活動費、期末手当、費用弁償、委員会費用など含む）、定数についても調査項目とし、議会全体で調査、協議するた

めの叩き台を作ることとしました。その後は全員協議会などの場で議員全員で議論し、報酬と定数については結論を出す予定です。

具現化特別委員会メンバー

委員長	小野 一晴 議員
副委員長	上野 幸美 議員
委員	加藤 将展 議員
委員	國分 浩実 議員
委員	小林 清悟 議員
委員	鎌田 準一 議員
委員	石川 保 議員

なり手不足解消調査報告書の 主な意見

- 昨年報告があった、なり手不足解消調査特別委員会での主な報酬、定数に関する意見は、
- 定数を削減し、報酬の増額を図るべき
- 定数は12人
- 報酬は月額28万円

昨年報告があった、なり手不足解消調査特別委員会での主な報酬、定数に関する意見は、定数を削減し、報酬の増額を図るべき。定数は12人、報酬は月額28万円。一方で、定数を現行の16人から4人削減することでその削減分の報酬を増額分の財源にあてることなども報告されていますが、決定ではなく、今後検討していきます。



議員の役割は果たせるか

体親書

たい しん しょ



庄内町議会議員 補欠選挙

平成30年6月に行われた庄内町議会議員選挙は既に報道等でご存知のとおり、定数16人に対し、15人しか立候補者がいなかったことから、欠員1人で無投票、全員当選となりました。そのため、今年7月に補欠選挙が行われます。

令和3年7月13日告示 18日投票

定数16人

庄内町議会議員の定数は現在16人となっています。上記のとおり、前回の選挙では、15人全員が無投票当選、欠員1人となっています。この場合、直近の首長選挙に合わせて補欠選挙を行うことになっており、令和3年7月13日告示、18日投票の庄内町長選挙と同時に実施されます。

選挙公営

今年行われる補欠選挙から、いわゆる選挙公営が導入されます。前回の令和2年12月定例会で選挙公営に関する条例が設定されました。

選挙公営とは、選挙に掛かる費用の一部を公費で負担するもので、個人での経費負担を軽減するとともに、立候補の機会均等を図る制度です。これまで町村議会議員選挙では、ハガキ代800枚分のみ公費負担でしたが、今年行われる補欠選挙からは、選挙用自動車

供託金

選挙公営を適用するにあたり、供託金制度が導入されます。町村議会議員選挙は15万円です。供託物没収点を超えた得票があれば返還されます。

※1(期間中1台のみ)
ハイヤー方式1日6万4500円、レンタル

シリーズ
Vol.19

議会

解

わかり



現在の議員報酬は、月額21万5000円です。活動日数はコロナ禍で減りましたが通常は年間200日前後です。

報酬等

れます。

今回の制度変更について報道などどのような影響が出るのかわかれていますが、これまで無かった供託金においては、大半の候補者には後に返還されるので影響は軽微であると思われれます。むしろ公費負担の幅が広がることで得られる利点の方が大きく、選挙運動が財力、経済力で左右されることが少なくなり、立候補を促すことにつながると考えられます。

制度変更の影響

用語解説

- ※ 1 ハイヤー方式 自動車の借り上げ、運転手報酬、燃料代を全て含む金額で契約する方式
- ※ 2 レンタル方式 自動車の借り上げ、運転手の雇用など個別に契約する方式
- ※ 3 供託物没収点 $\text{その選挙の有効投票総数} \div \text{議員定数} \times \frac{1}{10}$

新たな試み

参考人招致 参考人募集中

参考人招致とは

議会が議案、陳情などの審査や調査を行うにあたり、審議の充実を図るため、委員会において必要と認めるときに出席を求め、有識者等の意見を聞くことを言います。

平成3年の地方自治法改正により、特別委員会においても参考人聴取をできることになり、これを活用しました。

議員のなり手不足

参考人制度の活用は、町民の方々から議会に参画していただく機会を設けるとともに、議会に直接参加することで、議員のなり手不足についても考えていただくきっかけに

なると思います。

参考人に応募していただき、決定しましたら、意見のテーマを考慮し、担当議員を1人決めます。

しっかりと議員がサポートしますので、安心して応募していただけます。

今回登壇していただいた2人の発言（本紙12ページ）は、庄内町議会HPで録画配信されていますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせは議会事務局までお願いいたします。

主要内容

- ・ 発言時間は、担当議員とのやりとりを含めて約30分です。
- ・ 参考意見を述べるため、当局との質疑はありません。
- ・ 参考人にかかる費用弁償を支給します。



前回、令和3年1月15日発行の「こんにちは庄内町議会です」No.68、12月議会号において2点の誤りがありました。関係者にお詫びするとともに訂正いたします。

お詫びと訂正

工藤範子議員 一般質問

7ページ、工藤範子議員の一般質問、都市計画税に関する質問のなかで、「町は公共下水道事業に係る地域債償還」は、「町は公共下水道事業に係る地方債償還」の誤りでした。

みんなの未来計画

16ページ、みんなの未来計画・庄内町総合計画基本計画審査特別委員会の設置について記載した中で、後期基本計画の第2章「よりよい生き方を求め、ともに合う教育のまち」は、「よりよい生き方を求め、ともに学び合う教育のまち」の誤りでした。



今後もより見やすい、読みやすい紙面を目指します

庄内町議会が表彰

地域活性化の 特別な取り組みが評価



庄内町議会

全国町村議会議長会の町村議会議長会として、庄内町議会が表彰されました。この表彰は「地域活性化のため特別な取り組みをした議会」に対するもので、このたびは「議員なり手不足に真摯に向き合いその対策を講じた議会等」として本町が選考・決定され、表彰を受けたものです。

全国町村議会議長会表彰



吉宮 茂

全国町村議会議長会自治功労者表彰として吉宮茂議長が「特別表彰」を受賞されました。この表彰は、「町村議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に特に顕著なる功労のあった者」として、表彰を受けたものです。

山形県町村議会議長会表彰



上野 幸美

山形県町村議会議長会の自治功労者表彰として、上野幸美議員が議員在職11年以上として、表彰されました。上野議員は平成21年に初当選以来、11年以上町議会議員を務めてきました。

生声ひろば

余目中学校卒業式
3年3組

インタビュー

明日が今日より
輝くように



窓から差し込む春の光が、卒業生たちをやらわらかく包み込む。余目中学校の卒業式が3月16日、来賓なしで行われました。クラスでの記念撮影でマスクを外した瞬間、みんなの笑顔がこぼれました。

3年3組の石崎杏佳^{ももか}さんは「卒業した実感がなくて、もっとここにいたいなと思っていましたが、これからどんどん前に進んでいくのかなと思います。3年間すごく楽しかったですし、みんなに会えて幸

せでした。」と振り返りました。齋藤碧^{あおい}さんは「3年間、嫌なこともたくさんあったけど、それを乗り越えてきた達成感でいっぱいです。」と話してくれました。

私は、子どもたちがそれぞれの思い出を胸に、明日が今日より、もっと輝くようにと祈りながら、校舎を後にしました。

帰り道に、立谷沢の雪解けの水田に飛来している、白鳥の群れに出会いました。卒業生たちもこの白鳥たちのように、強い意志を

卒業は新たなスタート

もって旅立って、またいつの日にか、この地に戻って来るようにと、温かく見守ってあげたいと思います。

(將)

事務局新体制

4月1日に議会事務局書記として佐藤博子さん、監査事務局書記（議会事務局書記兼任）として佐藤一視さんが着任しました。成田事務局長、杉山書記を含めた4人で新体制になりました。



杉山さん、佐藤(博)さん 成田局長、佐藤(一)さん

花き提供

庄内町花き振興会より議場に生花を寄贈いただきました。



日本中に大きな爪痕^{つめあと}を残した東日本大震災から10年が経過した。本町は大きな被害はなかったが、友好町である宮城県南三陸町では大津波によって甚大な被害を受けた。支援物資を毎日発送するなど、避難生活を支えたことが思い出される。南三陸町の町並みは一変したが、災害に強いまちづくりを実践している。

教訓を生かし、日頃から防災への意識を高く持ち、家庭や職場などでも改めて災害時の行動などについて話し合い、避難場所の確認もお願いしたい。

(國分 浩実)

本町は災害が少ない町ではあるが、近年の異常気象、一昨年6月の山形県沖地震などもあり、しっかりと災害に備えなくてはならない。町の新しいハザードマップも全世帯への配布が完了。10年前の

発行人

議長 吉宮 茂

議会広報常任委員会

委員長 國分 浩実

副委員長 澁谷 勇悦

委員 鎌田 準一

委員 加藤 將展

委員 阿部 利勝

委員 長堀 幸朗